

令和7年度

吉野川市立川島中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- バランスの取れた「確かな学力」の育成
- ・基礎基本の徹底と「できた」「わかった」が飛び交う授業づくり
- ・思考の過程を大切にした学びの場の設定
- ・自主的に目標を掲げた家庭学習の定着

校長

校長

学力向上推進員

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

- ①管理職・教職員による授業参観など学びの場の設置 ②授業後における生徒の振り返り ③「めあて」「振り返り」等の明確化

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○各教科で基礎・基本が身につけており、与えられた課題に対して真面目に取り組むことができる。 ○タブレット端末を活用して調べたり、まとめたりすることができる。 ●各教科で身につけた基礎・基本を他の教科で関連づけたり、活用したりすることに課題がある。	・習得した知識や技能をつなげて考え、他の学習の場面で活用することができる。 ・基礎基本的な知識・技能を身につけ、家庭学習において自主的、継続的に学習に取り組むことができる。	・「めあて」等を明確化し、授業後に学習内容の振り返りやまとめをさせる。 ・教員が相互に授業参観を行うなど授業力の向上を図る。 ・自主勉強ノートや各教科のプリント等を活用して、振り返りをさせることで家庭学習の定着を促す。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○友だちの意見をしっかりと聞くことができ、自分の考えを発表したりすることができる。 ○課題解決のために互いに意見交換を行い、グループ活動やペア学習に意欲的に取り組むことができる。 ●複数の考えから新しい考えを創造したり、まとめたりすることに課題がある。	・自分の考えを具体的にわかりやすく伝えることができる。 ・各授業における課題等に対して、話し合い活動等を通して、自分の考えを深めたり、修正したりすることができる。	・ペアやグループでの学習を効果的に活用し、互いに協働して取り組む場面を設定する。 ・ノートやプリント、タブレット端末等のICT機器を効果的に活用し、自分の考えを表現できる機会を多く取り入れる。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○基本的な学習態度が定着しており、各授業に集中して取り組むことができる。 ○授業前の準備や各教科で与えられた課題に真面目に取り組むことができる。 ●自分の考えを客観的に捉えたり、不得意な学習内容に対して自分で計画を立てて克服することに課題がある。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自らの課題に対して友だちや教員の意見を受け入れ、その課題が解決できるよう計画を立てて実践することができる。	・「至誠ノート」を用いて目標達成のために行動目標を立てさせ、日常的にPDCAサイクルの確立を図る。 ・生徒同士が質問し合う機会を設け、教え合いができる機会をつくる。 ・学習の目的や学び方を伝え、家庭との連携を図りながら学習意欲の向上につなげる。			